

## 介護職員初任者研修カリキュラム(通信課程用)

事業者名 横浜市福祉サービス協会

研修事業の名称 介護職員初任者研修 通信課程

1 職務の理解 (6時間)					
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法			
① 多様なサービスと理解	2.5 時間	<b>【演習】</b> ・福祉サービスとはどのようなものがあるか (イメージでも可) グループワーク。DVD 視聴。 <b>【講義内容】</b> ・グループワークを踏まえて、様々なフォーマル・インフォーマルサービスを理解			
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3.5 時間	<b>【講義内容】</b> ・サービス提供する現場の実際 ・サービス提供に至るまでの流れ ・社会資源との連携 ・現場職員の体験談 <b>【演習】</b> ・どのような介護職になりたいか等グループワーク。			
合計	6時間				
2 介護における尊厳の保持・自立支援 (9時間)					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削課 題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
① 人権と尊厳を支える介護	6 時間	1.5 時間 P38-51	4.5 時間 P52-67	課題 1~8 穴埋 1~10 選択 1~10	<b>【講義内容】</b> ・介護を必要とする人が有する権利とは何か (人権と尊厳の保持) ・介護に関する基本的な視点を理解する (ICF・QOL・ノーマライゼーション) <b>【演習】</b> ・身体拘束・虐待についてグループワーク等 <b>【通信出題ポイント】</b> ・個人の権利を守る制度他、人権と尊厳を支える介護について
② 自立に向けた介護	3 時間		3 時間 P68-78	課題 1~6 穴埋 1~7 選択 1~6	<b>【通信出題ポイント】</b> ・介護における自立とは何か ・その人らしさを尊重するために、介護職として配慮すべき点の理解 ・介護予防、自立支援・個別ケアとは
合計	9時間	1.5 時間	7.5 時間		

3 介護の基本（6時間）					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削課 題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
① 介護職の役割、専門性と 多職種との連携	2 時間	2 時間 P80-95			<b>【講義内容】</b> ・介護環境の特徴 ・介護の専門性について考え、求められるものは何かを学ぶ ・多職種連携の目的や展開 <b>【演習】</b> ・介護に関わる職種について、個人・グループワーク等
② 介護職の職業倫理	1 時間	1 時間 P96-99			<b>【講義内容】</b> ・職業倫理（利用者本位・自立支援等） ・個人情報の取り扱い方（個人情報保護法等）
③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	2 時間		2 時間 P100-109	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	<b>【通信出題ポイント】</b> ・生活を守る技術としてのリスクマネジメントの視点の理解 ・感染対策の基礎的理解
④ 介護の安全	1 時間		1 時間 P110-119	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	<b>【通信出題ポイント】</b> ・介護の特徴を踏まえ、自身の健康管理の必要性の理解 ・介護職に起こりやすいところからの病気や障害の理解 ・健康管理の方法
合計	6時間	3時間	3時間		

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（9時間）					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削課 題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
① 介護保険制度	3 時間	1.5 時間 P122- 127	1.5 時間 P128- 147	課題 1～4  穴埋 1～5  選択 1～5	【講義内容】 ・介護保険制度創設の背景および 目的、動向 【演習】 介護保険制度のしくみについて グループワーク 【通信出題ポイント】 ・介護保険制度のしくみ等理解 ・制度を支える財源、組織、団体 の機能と役割
② 医療との連携とリハビリ テーション（訪問看護・ 医行為等）	2 時間		2 時間	課題 1～4  穴埋 1～5  選択 1～5	【通信出題ポイント】 ・介護職と医療行為の実情と経過 についての理解 ・介護職と看護職の役割・連携に ついての理解
医療との連携とリハビリ テーション（リハビリテ ーション）	2 時間		2 時間	課題 1～4  穴埋 1～5  選択 1～5	【通信出題ポイント】 ・リハビリテーションの理念と考 え方についての理解
③ 障害者自立支援制度及び その他の制度	2 時間		2 時間	課題 1～4  穴埋 1～5  選択 1～5	【通信出題ポイント】 ・障害者福祉制度における障害の 概念 ・障害者総合支援制度の基本的な しくみについての理解
合計	9時間	1.5 時間	7.5 時間		

5 介護におけるコミュニケーション技術（6時間）					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削課 題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
① 介護におけるコミュニケーション	3 時間	1.5 時間 P178- 183	1.5 時間 P184- 207	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	<b>【講義内容】</b> ・コミュニケーションの意義の目的 ・介護におけるコミュニケーションの役割と技法 <b>【演習】</b> ・障害別事例のロールプレイを行い、コミュニケーションの大切さ、伝え方等を理解する <b>【通信出題ポイント】</b> ・バイステックの7原則 ・障害別コミュニケーションの実際を理解
② 介護におけるチームコミュニケーション	3 時間	1.5 時間 P208- 217	1.5 時間 P218- 221	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	<b>【講義内容】</b> ・記録の意義と目的を理解し、書き方の留意点について学ぶ ・報・連・相の具体的な方法について学ぶ <b>【演習】</b> ・観察・記録について事例を使って演習 <b>【通信出題ポイント】</b> ・チームコミュニケーションの大切さの理解
合計	6時間	3時間	3時間		
6 老化の理解（6時間）					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削課 題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
① 老化に伴うこころとからだの変化と日常	3 時間		3 時間	課題 1～6 穴埋 1～7 選択 1～6	<b>【通信出題ポイント】</b> ・老化が影響を及ぼす心理や行動の個人差についての理解 ・社会的環境が与える影響について理解 ・身体的老化現象と日常的への影響について理解

② 高齢者と健康	3 時間	3 時間			<b>【講義内容】</b> ・高齢者に多くみられる疾患の基礎的理解 ・高齢者に多い病気の原因や特徴、生活上の留意点を学ぶ <b>【演習】</b> ・自身が日常生活で（健康等）気を付けていることを個人・グループワーク。生活上の留意点を理解する
合計	6時間	3時間	3時間		
7 認知症の理解(6時間)					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削課 題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
① 認知症を取り巻く状況	1 時間		1 時間	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	<b>【通信出題ポイント】</b> ・認知症の現状・認知症ケアの原則の理解
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2 時間	2 時間			<b>【講義内容】</b> ・脳の変化を学び、認知症の原因疾患の理解と対応法 ・健康管理について
③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2 時間	1 時間 P300- 309	1 時間 P310- 315	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	<b>【講義内容】</b> ・認知症ケアの仕方の基本を学ぶ <b>【演習】</b> ・事例を使い中核症状の理解や生活環境の工夫等ロールプレイやグループワーク <b>【通信出題ポイント】</b> ・認知症の人に関わる際の基本の理解 ・尊厳を守る視点を持つことについて理解
④ 家族への支援	1 時間		1 時間	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	<b>【通信出題ポイント】</b> ・家族介護者の負担を理解しレスパイトケアの重要性を理解 ・家族への支援の理解
合計	6時間	3時間	3時間		

8 障害の理解（3時間）					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削課 題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
① 障害の基礎的理解	1 時間		1 時間	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	【通信出題ポイント】 ・障害の概念、障害者福祉の基本 理念について理解
② 障害の医学的側面、生活 障害、心理、行動の特 徴、かかわり支援等の基 礎知識	1.5 時間	1.5 時間			【講義内容】 ・障害の原因となる主な疾患を学ぶ ・心理的影響、障害の受容を学ぶ ・障害に合わせた関わり方等 【演習】 ・障害者体験(視覚・聴覚・身体障害)
③ 家族の心理、かかわり支 援の理解	0.5 時間		0.5 時間	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	【通信出題ポイント】 ・家族介護の肩代わり支援だけでない ことへの理解 ・レスパイトサービスの理解
合計	3時間	1.5 時間	1.5 時間		
9 こころとからだのしくみと生活支援技術（7.5時間）					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削課 題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
① 介護の基礎的な考 え方	2 時間	1 時間 P2-6	1 時間 P7-9	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	【講義内容】 ・理論に基づく介護を学ぶ 【通信出題ポイント】 ・法的根拠に基づく介護の理解
② 介護に関するこ ころのしくみの基礎的理解	2 時間	1 時間 P16-21	1 時間 P10-15	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	【講義内容】 ・自己概念と生きがい、老化や障害の 受容に関する基礎的知識の理解 【通信出題ポイント】 ・学習と記憶、感情と意欲に関する基 礎的知識を理解
③ 介護に関するから だのしくみの基礎 的理解	7 時間	4 時間	3 時間	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～10	【講義内容】 ・人体（骨格・関節・筋・）の理解 ・神経・器官に関する基礎知識 ・生命の維持の徴候を知る（バイタル サイン） 【演習】 ・バイタル測定 【通信出題ポイント】 ボディメカニクスの原理を理解する 人体の各部の働きの理解

④ 生活と家事	4 時間	1 時間	3 時間	課題 1～6  穴埋 1～7  選択 1～6	<p>【通信出題ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活を継続していくための家事の重要性</li> </ul> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅における、自立に向けた生活・家事援助等の理解</li> </ul> <p>【演習】</p> <p>自立支援を考えた調理における留意点についてグループワーク</p>
⑤ 快適な住環境整備と介護	4 時間	2 時間	2 時間	課題 1～4  穴埋 1～5  選択 1～5	<p>【通信出題ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安心して生活するために必要な環境の整備、室内環境の確保の仕方について学ぶ</li> </ul> <p>【講義内容】</p> <p>介護保険における住宅改修や福祉用具の理解</p> <p>【演習】</p> <p>福祉用具体験</p>
⑥ 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7 時間	7 時間			<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>整容の必要性と、整容に関連したところとからだのしくみを理解</li> <li>整容の介護を行うための技術を身につける</li> </ul> <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>衣類の着脱・爪切り・整容介助等</li> </ul>
⑦ 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	14 時間	14 時間			<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>移動移乗の必要性と自立支援</li> <li>人の自然な動きの理解</li> <li>生理学的に基づいた動きの理解</li> <li>座位の重要性</li> <li>視覚障害者の歩行等</li> </ul> <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>寝返り～起き上がり～座位～移乗～移動の実践</li> <li>福祉用具の使用法</li> <li>自立支援に基づく介助方法・視覚障害者の歩行介助</li> </ul>
⑧ 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7 時間	7 時間			<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食事の必要性と嚥下のメカニズム</li> <li>姿勢管理の理解</li> </ul> <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水分・食事の介助方法</li> <li>口腔ケアの介助方法</li> </ul>

⑨	入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	4 時間	4 時間			<b>【講義内容】</b> ・入浴・清潔保持の効果と意義 ・入浴・清潔保持に及ぼす影響 <b>【演習】</b> ・全身浴・半身浴・洗髪・清拭等
⑩	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7 時間	7 時間			<b>【講義内容】</b> ・排泄の必要性・排泄のメカニズム <b>【演習】</b> ・おむつ体験 ・排泄(トイレ、尿器、ポータブルトイレ等)の介助方法
⑪	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	4 時間	2 時間	2 時間 P250～ 259	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	<b>【講義内容】</b> ・睡眠環境について <b>【演習】</b> ・ベッドメイキング・安楽姿勢の理解 <b>【通信出題ポイント】</b> ・睡眠の必要性と睡眠に関するところとからだのしくみの理解 ・心身機能の低下が睡眠に及ぼす影響の理解
⑫	死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	3 時間	3 時間			<b>【講義内容】</b> ・終末期のとらえ方 ・終末期から死までの身体機能の変化 ・死に直面した人の心理状況・家族との関わり方 <b>【演習内容】</b> ・末期がん患者への支援を考える
生活 支援 技術 演習	⑬ 介護過程の基礎的理解	3 時間	3 時間			<b>【講義内容】</b> ・介護過程の目的と意義、展開について学ぶ ・ケアマネジメントの基礎的理解 <b>【演習内容】</b> ・介護サービス計画書(ケアプラン)のポイント、事例を使って学ぶ
	⑭ 総合生活支援技術演習	7 時間	<b>【演習内容】</b> ・想定事例1, 2 ・個人の習得度チェック			
合計		75 時間	63 時間	12 時間		
10 振り返り (4時間)						
項目名		時間数	講義内容及び演習の実施方法			



① 振り返り	3 時間	<b>【講義内容】</b> ・研修全体の学習内容を振り返り再確認する。 <b>【演習内容】</b> ・グループワークにより、評価シートを確認しあい、必要な部分の振り返りを行う。 ・研修の再確認とまとめ
② 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	1 時間	・現在の介護の動向を踏まえ、研修の必要性や、研修の案内、キャリアパスについて
合計	4 時間	
全カリキュラム合計時間	130 時間	